報 告 事 項 1

令和6（2024）年度 事業報告

公益社団法人川崎市看護協会活動指針

<理念>

私たちは、看護職の自律を促し、相互の連携を図ることにより、全ての人の生命の尊厳が保たれ、その人らしく生きていくことのできる社会の実現に寄与します。

<方針>

- I 看護職の自律的な思考と行動を促し、一人一人の看護の質の向上と人間的成長を支援します。
- II 会員をはじめとした市内の看護職の連帯により力を結集し、市民の健康課題の解決に寄与します。
- III 本協会と関わる人や団体とのつながりを大切にし、地域において看護の力を発揮する可能性を探求します。

<目標>

- 1 看護の質の向上を図るため、社会の動向と地域の実情を踏まえた研修等の研鑽の機会を提供する。
- 2 看護師を目指す人を増やすため看護の魅力を発信するとともに、安心して働き続けられる環境づくりを推進し離職防止を図る。
- 3 地域包括ケアの理念を踏まえ、全ての市民に対する切れ目のない看護支援を実現するため、地域における看看連携と多職種連携の強化を促進する。
- 4 災害時の看護支援体制の強化に寄与する取組を推進する。
- 5 会員の満足度を高め、市内看護職の加入を促進する。
- 6 訪問看護等在宅療養関連事業、休日（夜間）急患診療所看護管理業務等の事業の安定的経営を図る。

令和6(2024)年度 重点事業

- 1 協会の目標を達成するため、各常任委員会の活動を効果的に進める。
特に、令和5年度中に始めた新たな取組については、安定的に運営できるよう必要な修正を図りながら継続的に推進する。
- 2 地域包括ケア推進に向けて、看護関係団体や川崎市立看護大学、医療関係団体、地域団体等との連携を強化し、地域に根差した活動を展開する。
- 3 看護活動拠点であるナーシングセンター機能の強化に向けた取組を検討する。
- 4 行政や関係団体との関係構築を図りながら、災害時看護支援ボランティアナースの平時の活動の活性化等により、災害発生時に備える取組を推進する。
- 5 会員数減少の危機感を共有し、協会活動への御理解と御協力をいただける看護職を一人でも増やすため、委員会や役員による職場訪問等の取組を積極的に行い、会員に対し周囲への啓発等を推奨する。情報発信機能の強化に向けたホームページ改善、会員の福利厚生の充実に向けた取組を推進する。
- 6 協会立訪問看護ステーション及びケアプランセンターの安定的な事業推進に向け、職員一人一人がさらなるサービスの質の向上に努め、利用者確保を図る。

川崎市看護協会 令和6(2024)年度の取組状況

*「令和6年度重点事業」として6つを掲げ、取組の状況は次のとおり。

1 協会の目標を達成するため、各常任委員会の活動を効果的に進める。

特に、令和5年度中に始めた新たな取組については、安定的に運営できるよう必要な修正を図りながら継続的に推進する。

- 各委員会において、計画に則り継続的かつ積極的にすすめることができた。
- 看護自主活動支援事業の支援、プロボノ活動実際の取材と広報（看護プロボノ推進委員会）
- 昨年に引き続き「KAWASAKI 看護の魅力発見フェア 2024」の開催、ミニたまゆり参加（人材確保・定着推進委員会）
- 協会研修計画作りに意見反映、学会発表、在宅診療の看護師のアンケート・ヒヤリング（教育委員会）
- CHANGEプロジェクトとの連携推進（労働環境改善推進委員会、会員委員会、推薦委員会）
- 看護職場でのインタビューおよびイベントの広報（広報委員会）

2 地域包括ケア推進に向けて、看護関係団体や川崎市立看護大学、医療関係団体、地域団体等との連携を強化し、地域に根差した活動を展開する。

- 多職種連携交流会の開催（地域連携推進委員会）
- 看護連携推進委員会において訪問看護師と市内病院看護師が連携し看護サマリーを作成
- 川崎市立看護大学教員の研究調査に協力。連携した取組検討を進めるため大学との連絡会を定例化

3 看護活動拠点であるナースングセンター機能の強化に向けた取組を検討する。

- 研修の効果的な実施
- 看護人材の確保に向けた情報収集と検討
求人情報ボードの設置、未就業看護職復職支援研修受講者への個別相談の実施 等
- 看護師や市民向けの活動等の自主的な取組を行う看護師グループなどが、ナースングセンターを活用して目標を実現できるようセンター研修室の時間外利用など支援
- 「まちの保健室」「看護なんでも相談」に関する広報・周知を強化し、身近な看護協会としての相談機能を充実。ハローワーク川崎北での広報・ワークショップの参加

4 行政や関係団体との関係構築を図りながら、災害時看護支援ボランティアナースの平時の活動の活性化等により、災害発生時に備える取組を推進する。

- 災害・救護委員会を中心に災害時看護支援ボランティアナースの平時の活動の活性化
特に宮前区メンバー動き方を参考にボランティアナースの顔の見える関係づくりに尽力
- 行政や関係団体と関係構築をはかり、防災訓練などへ参画

5 会員数減少の危機感を共有し、協会活動への御理解と御協力をいただける看護職を一人でも増やすため、委員会や役員による職場訪問等の取組を積極的に行い、会員に対し周囲への啓発等を推奨する。情報発信機能の強化に向けたホームページ改善、会員の福利厚生の充実に向けた取組を推進する。

- 会員委員会・推薦委員会：事業所訪問や新たな研修を企画し会員確保の呼びかけ。CHANGEプロジェクトの趣旨浸透に資する会員交流会を2回実施し、他業種と満足度の高い交流を推進
- 広報委員会：協会ニュース紙面拡大と内容の充実。ホームページ改善、情報発信機能ツールのインスタグラムの開始

6 協会立訪問看護ステーション及びケアプランセンターの安定的な事業推進に向け、職員一人一人がさらなるサービスの質の向上に努め、利用者確保を図る。

- 協会立訪問看護ステーションの経営課題を中心に、安定的な運営をめざした議論を重ねる
- 経営改善に向けたサービスの質の向上を目指し、利用者及び地域関係機関を対象に満足度調査を実施

令和 6 (2024) 年度 事業報告

I 公益目的事業

- 1 市民への保健・医療・福祉サービスの推進事業
- 2 看護の専門性の確立と生涯学習の支援事業
- 3 医療・看護安全対策に関する事業
- 4 地域医療・看護活動の推進と拡充に関する事業
- 5 看護職の就業・継続促進事業
- 6 川崎市ナーシングセンター管理運営事業
- 7 協会立訪問看護ステーション等事業

II 収益事業等

- 1 会員に対する支援体制の充実に係る事業
- 2 川崎市休日（夜間）急患診療所の看護管理業務に関する事業

III 法人運営に関する事業

- 1 看護職能団体としての組織強化に関する事業

I 公益目的事業

I-1 市民への保健・医療・福祉サービスの推進事業

事業内容	実施内容
1 看護に関する普及啓発 (1) 看護週間行事(看護フェスタ in かわさき 2024)の開催 (2) 市制 100 周年看護プロボノ推進委員会イベントの開催 (3) ホームページの充実・利用の促進 (4) 中学・高等学校等への広報活動の強化	1 (1) 5月11日(土) 12:30~15:30 JR溝の口駅南北自由通路 (2) 令和6年6月16日(日) 川崎市総合福祉センター (3) 情報の適時更新、運用保守委託 (4) 「看護の魅力発見フェア」チラシ作成 (1,000枚)及び市内中学・高校への送付
2 市民のための健康相談・健康教育 (1) まちの保健室事業 (2) 健康教育等 (3) 市民向けプロボノ活動	2 (1) 電話・面接相談 2,501件 (2) 随時 (3) 看護プロボノ推進委員会 10回
3 子育て支援事業 (1) 不妊・不育専門相談 (毎月1回 土曜日開催) (2) プレパパ・プレママ教室 (年10回 土曜日開催) *ハイブリッドで実施	3 (1) 相談件数 25件 48名 (2) 会場参加 229組 455名 ZOOM参加 732組 1,464名

(3) 出産・子育て応援事業伴走型相談支援業務	(3)相談者数	63名
4 災害支援・救護活動事業	4	
(1) 災害時看護の研修・訓練・会議等	(1)	
①災害時看護研修Ⅰ、Ⅱ	①Ⅰ:7月9日	28名
	Ⅱ:8月27日	24名
②川崎市総合防災訓練	②令和6年9月1日(台風中止)	
③各区防災会議、医療救護ネットワーク会議、訓練	③各区会議へ参加	
(2) 災害時看護支援活動	(2)災害・救護委員会(年6回)	
①ボランティアナース養成事業	①養成講座1回 4月24日	41名
・フォロー研修	・令和6年11月6日	23名
・交流会	・令和7年1月28日	7名
(3) 市民向け啓発・普及活動「備えるフェスタ」への参加	(3)令和6年12月7日	13名
(4) 市民参加行事への救護員の派遣	(4)派遣件数	33件
協会会員で医療救護登録の看護職及び市内医療機関の看護職	延べ派遣看護師	53名
	(内訳) P36・37のとおり	

I-2 看護の専門性の確立と生涯学習の支援事業

事業内容	実施内容	
1 看護協会研修計画表の作成	1 年間計画表	4,500部
2 看護職育成研修	2	
(1) 新人看護職員研修	(1) 3.5日 6月4・5・11日	21名
新人看護職員フォロー研修	2月13日(AM)	17名
(2) 看護職員指導者研修	(2) 2.5日 1月16・17日	13名
新人看護職員フォロー研修指導	2月13日(AM)	13名
(3) 社会人基礎力育成研修	(3) 令和7年1月16日	7名
(4) 看護補助者活用推進のための管理者研修	(4) 11月9日 45名(会場25名 Web20名)	
3 看護実践能力向上研修	3	
(1) 精神科訪問看護基本療養費の算定要件研修	(1) 3日間 8月22・29日、9月5日	11名
(2) 感染管理の研修	(2) 10月2日	18名(会場12名 Web6名)
(3) 認知症看護に必要な専門的知識技術を有する看護師を養成する研修会	(3) 2日間 11月7日・8日	22名

(4) 小児看護研修	(4) 12月18日	37名
(5) 看護師に対する緩和ケア教育 (ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム) 研修	(5) 2日間 11月29日・12月6日	18名
(6) 心不全患者のセルフケアを支援する看護	(6) 令和7年2月13日	30名
4 看護研究の推進	4 教育委員会 (年8回)	
(1) 看護研究の実践 (前編・後編)	(1)前編 7月23日 後編 9月10日	13名 9名
(2) 看護研究・活動報告会(ハイブリッド開催)	(2) 令和7年2月27日 (会場43名 Web29名) 発表演題	72名 19題
5 市制100周年記念「多職種チームで予防する誤嚥性肺炎」	5 令和6年10月3日 (会場20名 Web29名)	49名
6 看護自主活動支援	6 3件 総額 65,570円 (おせっかいナース、まちかわ、ELN)	

I-3 医療・看護安全対策に関する事業

事業内容	実施内容
1 医療事故防止対策の推進 (1) 医療安全相談	1 (1) 通年

I-4 地域医療・看護活動の推進と拡充に関する事業

事業内容	実施内容
1 地域看護の質の向上 (1) 看護連携推進委員会 「病院と地域の看護職連携交流会」	1 (1) 委員会 5回開催 交流会 9月18日 73名
(2) 地域連携推進委員会 (年5回) 「多職種連携交流会(ハイブリッド開催)」	(2) 委員会 5回開催 交流会 8月24日 53名
2 在宅療養の推進 (1) 在宅療養支援研修 (単科別) * 認知症対応力向上研修 * 訪問看護師養成講習会 (実習1日含む11日間コース)	2 (1) 20講座 (半日単位) 延べ54名 * 養成講習会と同期間 * 7月6日、10月31日、12月7日 69名 * 5月16日～7月18日 (土・木) 19名

<p>(2) 在宅医療連携研修(病院研修) *市内の訪問看護師対象</p> <p>(3) 川崎市内訪問看護ステーションの支援 ①神奈川県訪問看護ステーション協議会 川崎ブロックの活動支援 ②行政と連携した訪問看護事業支援 ③在宅療養支援推進に係る取組</p> <p>(4) 川崎市重度障害者訪問看護サービス等 支援事業事務</p>	<p>(2)小児科病棟/地域医療部 1日単位 ・川崎病院(小児科1名、患者サポートセンター1名) ・井田病院(地域医療部 3名) ・多摩病院(医療相談センター 1名)</p> <p>(3) ① 訪問看護ステーションへの事務連絡 ② 行政との連携・協力 ③ 訪問看護ステーション等への技術支援</p> <p>(4)登録者 84人 利用者 52人 延べ利用者 725人 支払額 10,022千円</p>
---	---

I-5 看護職の就業・継続促進事業

事業内容	実施内容
<p>1 看護職員確保定着対策の推進</p> <p>(1) 未就業看護師等復職支援研修</p> <p>(2) 看護なんでも相談(通年) ①未就業看護師等の相談(通年)</p> <p>②ハローワーク(川崎・川崎北)との連携による就業支援 ③看護職員の就業継続に関する相談事業及び福祉分野看護師の確保協力</p> <p>(3) 復職支援の取組 ①「KAWASAKI 看護の魅力発見フェア」 ②「ミニたまゆり」に参加 新 田園調布学園大学キャンパス</p> <p>(4) 労働環境改善推進の取組 ①看護職の意見を技術開発に反映</p> <p>(5) 看民工学連携の推進 医工看共創に係る看護関連業務</p>	<p>1 (1) 年2回(1コース/2日間) 6月18・20日 13名 延べ24名 11月12・19日 12名 延べ22名</p> <p>(2) ① 就労相談件数 35件 延べ41回 就労相談チラシ作成 1,000枚 毎月50~60箇所の求人票を提示 ② 9月5日看護職セミナー 22名 ③ 川崎市社会福祉協議会求人情報を提示</p> <p>(3) 人材確保定着推進委員会 7回 ①11月2日 市立川崎病院 54名 シンポジウム、技術体験など実施 ②小学生向け看護体験 11月17日 19名</p> <p>(4) 労働環境改善推進委員会 6回 ①看護職と工学研究者のワークショップ 12月10日 44名 ②「あったらいいな調査」の実施</p> <p>(5) コンサルティング業務 ①看護現場シャドーイング調整 ・訪問看護ステーション、市立川崎病院 ②高校生等への普及啓発 4校 ③10月13日麻生区民祭での啓発</p>

2 次世代看護職員育成事業 (1) 高校生・社会人対象進路進学相談会 (2) 看護に関する情報提供（通年）	2 (1) 7月27日 14名 (2) 看護フェスタ、防災イベント等で情報提供
---	---

I-6 川崎市ナースングセンター管理運営事業

事業内容	実施内容
1 川崎市ナースングセンター管理運営 (1) 研修室等の運営管理 (2) 図書・教材の貸出 (3) ナースングセンター運営委員会	1 (1) センター管理維持（光熱水費等） 利用回数：262回、利用者数：6,183人 (2) 専門書、保健衛生ニュース、月刊コミュニティケア等 心肺蘇生訓練教材（AED、訓練人形） (3) 8月28日開催 出席委員8名

I-7 協会立訪問看護ステーション等事業

事業内容	実施内容
1 協会立訪問看護ステーション事業等の充実 (1) 事業内容 介護保険法による指定居宅サービス事業 及び健康保険法による訪問看護事業 (2) 訪問看護ステーション ①かわさき訪問看護ステーション ②訪問看護ステーション井田 ③向丘訪問看護ステーション (3) 居宅介護支援事業 (川崎市看護協会ケアプランセンター) (4) 訪問看護職員等の専門的知識及び資質 向上研修 (5) 運営会議（3ステーション合同）開催 (6) 経営会議開催（4事業所） 3ステーション、ケアプランセンター合同 (7) 医療安全会議、事例検討会開催	1 (1) 運営事業所 かわさき、井田、向丘訪問看護ステーション *詳細はP27～33参照 (2) ステーション別訪問件数 ①訪問件数 6,648件 ②訪問件数 6,959件 ③訪問件数 4,810件 (3) ケアプラン作成件数 521件 *詳細はP34・35参照 (4) 事業所研修 5回 3ステーション、ケアプランセンター合同 実施日：4/27・7/6・7/17・10/5・3/1 参加者：21人・20人・4人・23人・27人 (5) 不開催 (6) 12回（毎月1回） (7) 各ステーション毎月1回

<p>(8) 安全対策委員会 ①安全管理マニュアル整備</p> <p>②虐待防止委員会</p> <p>③業務継続計画（BCP）に関すること ④感染症の発生及び蔓延防止に関すること</p> <p>(9) 利用者の満足度調査</p> <p>(10) 看護職・看護学生・訪問看護師養成講習会などに対する教育支援、研修生受け入れ</p> <p>(11) 関係機関との連携</p>	<p>(8) 年4回 4/24・7/24・11/27・1/29 ①安全管理マニュアルの改訂検討 1/15・2/5・3/5</p> <p>②虐待防止委員会 4回 4/24・7/24・11/27・1/29 *報告事例の経過報告・研修 (3/1 講義受講・演習)</p> <p>③BCP検討・講義受講</p> <p>④感染対策委員会 2回 6/19・11/27 *感染対策に関する指針等作成及び研修 実施(10/5 受講・演習)</p> <p>(9) 訪問看護ステーション利用者</p> <p>(10) 川崎市立看護大学、武蔵野大学、川崎市立病院(川崎・井田)など</p> <p>(11) 適宜連携</p>
---	--

II 収益事業等

II-1 会員に対する支援体制の充実に関する事業

事業内容	実施内容
<p>1 会員への情報提供・意見収集体制の充実</p> <p>(1) 広報誌「川崎市看護協会ニュース」発行</p> <p>(2) 協会活動及び動向に関する情報提供</p> <p>(3) ホームページの充実</p> <p>(4) スピーキャンライデンによる情報発信</p> <p>(5) インスタグラムによる情報発信</p>	<p>1 広報委員会 (年6回)</p> <p>(1) 年4回 各4,000部発行</p> <p>(2) 研修会、講演会など各種案内配布 年4回</p> <p>(3) 会員専用ページ創設の検討など</p> <p>(4) 各種研修会や制度改正など、会員への有用情報の提供 70回</p> <p>(5) 同上 29回</p>
<p>2 会員増加の推進</p> <p>(1) 入会案内等のリーフレットの配布</p> <p>(2) 未加入施設への広報活動</p> <p>(3) 川崎市病院看護部長会への広報 (新入看護職員等への説明会)</p> <p>(4) 看護学生を対象とした広報活動</p>	<p>2 会員委員会(年6回)推薦委員会</p> <p>(1) 2,000部(随時印刷)</p> <p>(2) 協会ニュース配布</p> <p>(3) 市内病院など施設訪問 (新人リエンテーション・師長会等)</p> <p>(4) 川崎市立看護大学、看護専門学校訪問</p>

<p>(5) 新規・継続入会手続等の案内</p> <p>3 会員相互の交流促進</p> <p>(1) 新春交流会（ウィズコロナ形式で）</p> <p>(2) 会員交流会 ・メトロニックイノベーションセンター ・ナノ医療イノベーションセンター (AR・VR 体験と見学)</p> <p>(3) 新人交流会</p> <p>4 会員のための福利厚生充実</p> <p>(1) 各種表彰の推薦</p> <p>①神奈川県保健衛生表彰知事表彰 ②神奈川県公衆衛生協会会長表彰</p> <p>③日本家族計画協会会長表彰 ④母子愛育会会長表彰</p> <p>⑤川崎市保健衛生功労者表彰</p> <p>⑥川崎市制 100 周年記念表彰</p> <p>(2) 会員の慶弔への対応</p> <p>(3) 川崎フロンターレホームゲームペアチケットプレゼント（19 試合）</p> <p>(4) 看護研究奨励賞</p> <p>(5) ホリプロ主催公演特別優待チケット斡旋</p>	<p>(5) 入会案内等の送付（11 月）</p> <p>3</p> <p>(1) 令和 7 年 1 月 24 日（金） ホテル「精養軒」 121 人</p> <p>(2)</p> <p>令和 6 年 10 月 25 日 7 人 令和 6 年 11 月 15 日 12 人</p> <p>(3) 令和 6 年 7 月 10 日 33 人</p> <p>4</p> <p>(1) 受賞者への記念品贈呈</p> <p>①井上ふみ子（川崎市立多摩病院） ②前村 里美（中原区役所高齢・障害課）</p> <p>③丹羽 純子（総合高津中央病院） ④南端 慶子（こども未来局児童家庭支援・虐待対策室）</p> <p>⑤藤原 実香（川崎市立川崎病院） 本館 教子（聖マリアンナ医科大学病院） 本山 純子（日本医科大学武蔵小杉病院）</p> <p>⑥林 りつ子（元総合新川橋病院） 高橋 恵（聖マリアンナ医科大学）</p> <p>(2) 適宜対応</p> <p>(3) 応募総数 131 件</p> <p>(4) 図書カード贈呈 19 人</p> <p>(5) 公演「ハリーポッターと呪いの子」</p>
--	---

II-2 川崎市休日（夜間）急患診療所の看護管理業務に関する事業

事業内容	実施内容
休日（夜間）急患診療所における看護管理業務	<p>○実施場所及び看護師配置数等</p> <p>① 川崎・幸・中原・高津・宮前・麻生の各休日急患診療所</p> <p>日・祝日、年末年始の昼間 70 日、各 2 人（年末年始は中原・宮前・麻生は各 3 人）</p>

<p>1 各診療所における看護業務の指導・監督</p> <p>2 看護師出勤に関する事務的業務</p> <p>3 診療材料等の管理</p> <p>4 研修等の質向上の取組</p> <p>5 業務状況の把握と川崎市医師会への報告等</p>	<p>② 多摩休日（夜間）急患診療所（北部小児急病センター含む） 日・祝日、年末年始の昼間 70 日、 2 人（年末年始は 3 人） 夜間 365 日（準夜 2 人・深夜 1 人）</p> <p>1 ・「看護業務の手引き」を基本とした看護業務を指導及び手引きの一部改訂 ・看護管理上の課題等の把握及び対応</p> <p>2 ・緊急時、繁忙時の対応要員確保 ・毎月の勤務表作成、メールによる出勤日確認及び欠員発生時の対応 ・毎月給与計算及び明細書作成・送付</p> <p>3 ・診療材料や医薬品等の調達及び在庫管理、医薬品等在庫集計表の作成 ・診療所巡回強化</p> <p>4 ・看護業務従事者研修会の開催 令和 7 年 3 月 28 日、23 名</p> <p>5 ・日報による状況把握、必要に応じた川崎市医師会との情報共有</p>
--	--

Ⅲ 法人運営に関する事業

Ⅲ－1 看護職能団体としての組織強化に関する事業

事業内容	実施内容
<p>1 職能団体としての組織・運営の強化</p> <p>(1) 通常総会の開催</p> <p>(2) 理事会・委員会の開催 ① 理事会 ② 常任委員会 (9 委員会) ③ 次期役員候補者の選考</p> <p>(3) 倫理審査委員会</p> <p>(4) 看護関係団体との連携 (市内看護関係団体)</p>	<p>1 (1) 6 月 28 日 (金) 9 時 30 分～12 時 〔 県看護協会川崎支部大会 〕 13 時 30 分～15 時 30 分</p> <p>(2) 開催回数等 ① 年 6 回 理事 14 名、監事 2 名 ② 年 5 回～12 回 委員 51 名 ③ 推薦及び公募</p> <p>(3) 第 1 回 令和 6 年 5 月 8 日 第 2 回 令和 7 年 3 月 28 日</p> <p>(4) 適宜連携</p>

<p>川崎市病院看護部長会・神奈川県訪問看護ステーション協議会川崎ブロック・川崎市老人保健施設看護部長会・川崎市助産師会 (神奈川県看護協会本部、日本看護協会等)</p> <p>①神奈川県看護協会総会等参加 ②川崎支部との連携・協働 ③日本看護協会総会 ④全国職能別交流集会 ⑤日本看護サミット・訪問看護サミット</p> <p>(5) 会員増加の推進</p> <p>(6) 公益社団法人としての事務局機能の整備・充実</p> <p>2 政策への提言 (1) 川崎市への予算要望及び市議会各会派との政策懇談会 ・医療制度、看護教育制度、診療報酬及び介護保険等に関すること ・看護職員の働く環境、看護提供体制の改善・充実に関すること</p> <p>3 関係団体との連携促進 (1) 保健・医療・福祉の関係団体との連携 ①行政 ②医療 5 団体 川崎市医師会・川崎市歯科医師会・川崎市薬剤師会・川崎市病院協会 ③福祉関係 介護支援専門員連絡会・福祉施設等</p> <p>(2) 介護保険に関する事業推進 ①川崎市介護認定審査会委員(50 合議体) ②川崎市介護保険運営協議会委員等</p> <p>(3) 行政機関及び団体等の審議会・各種委員の就任</p>	<p>① 6 月 21 日 県総合医療会館 ② 6 月 28 日 県協会支部大会 ③ 6 月 6 日 東京国際フォーラム ④ 6 月 7 日 東京国際フォーラム他 ⑤ 11 月 30 日 浜松町コンベンションホール</p> <p>(5) 各種広報媒体の活用</p> <p>(6) 顧問弁護士・顧問コンサル契約、財務システム導入</p> <p>2 行動内容等 (1) 川崎市行政及び川崎市議会各会派 ・川崎市副市長（事業説明） 健康福祉局長、こども未来局長 「令和 7 年度川崎市予算編成等に関する要望書」提出（7 月 2 日） ・川崎市議会各会派との懇談 「政策懇談会等への出席」 自民党、公明党、みらい川崎 （7 月 9 日）</p> <p>3 (1) 連携内容 ①健康福祉局（看護師確保対策等） 教育委員会（学校への訪問看護に関する調整）経済労働局 他 ② 医療 5 団体懇談会 令和 6 年 10 月 25 日 事務長・事務局長意見交換会 令和 6 年 8 月 1 日 ③ 適宜連携</p> <p>(2) 適宜対応 ①令和 7 年 4 月～委員推薦 50 名 ② 各委員会委員就任</p> <p>(3)保健所運営協議会委員、各区防災会議、地域包括支援センター運営協議会委員等への就任</p>
---	---

<p>(4) 共創の場形成支援プログラムによる拠点「プロジェクト CHANGE」への参画に纏わる連携</p> <p>(5) 川崎 100 周年実行委員会への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会総会 (第 5 回) ・実行委員会総会 (第 6 回) ・緑化かわさきフェア開会式 <p>4 管理運營業務</p> <p>(1) 事務所維持管理</p>	<p>(4) 連携内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①川崎市産業振興財団との連携 ②病院協会・病院看護部長会等の役員会での説明 <p>(5) 市制 100 周年実行委員会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年 8 月 28 日 ・令和 7 年 3 月 24 日 ・令和 6 年 10 月 19 日 <p>4</p> <p>(1) 各種保険契約、事務所・点検設備等の保守</p>
---	--

令和6(2024)年度川崎市看護協会研修報告

研修会名	研修内容	開催日	募集者	受講者	備考
多職種連携研修	地域で育む臨床倫理 ～本人・家族にとっての最善を実現する支援とは～	8月24日 ハイブリッド	100名	53名	地域連携 推進委員会
看護研究の実践 (2日間)	・日々の実践の中での課題・疑問を看護研究につなげる方法を学ぶ ・看護研究の方法・文献検索の方法・研究計画書の作成等	前編 7月23日 後編 9月10日	30名	13名	教育委員会
看護研究発表・活動 報告会	・看護の各領域における研究成果を発表し、看護の質の向上を図る	令和7年 2月27日	40名	72名	教育委員会
看護師に対する緩和ケア教育(ELNEC-Jコアカリキュラム)研修 (2日間)	・ELNEC-Jはエンド・オブ・ライフ・ケアや緩和ケアを提供する看護師に必須とされる能力習得の為に系統的な教育プログラム。人々へ質の高いエンド・オブ・ライフケアを提供できるように、知識・技術を習得する	10月29日 12月6日	30名	18名	事務局
トピックス研修	心不全患者のセルフケアを支援する看護	令和7年 2月13日	40名	30名	事務局
	市制100周年記念「多職種チームで予防する誤嚥性肺炎」	10月3日 ハイブリッド	40名	49名	
災害時看護Ⅰ研修会	・災害医療における基本事項を理解し看護職としての役割を学ぶ ・急性期トリアージの実際を学ぶ	7月9日	40名	28名	事務局
災害時看護Ⅱ研修会	・川崎市の災害リスクを共有し必要な対策を考える ・災害医療における基本事項を理解し、看護職としての役割を学ぶ	8月27日	40名	24名	事務局
管理者研修	・看護補助者活用推進の為に看護管理者研修	11月9日	40名	45名	事務局
災害時看護支援ボランティアナース養成講座Ⅰ	・川崎市内で、地域に住む人が災害に見舞われた時、避難所等身近な場所で医療救護や相談支援に協力する等、災害時看護支援ができる人材を養成する	4月24日	40名	41名	事務局
災害時看護支援ボランティアナースフォロー研修	能登半島地震に日本医師会災害医療チーム神奈川JMAT隊員として派遣された看護職の体験談を聞き、災害時看護支援の具体的な活動をイメージし、皆で課題とその対応を考える	11月6日	30名	23名	災害・救護委員会

令和 6 (2024) 年度 看護技術支援事業 (川崎市委託事業) 実施報告

(半日 1 単位)

研 修 テ ー マ	開 催 日 時	受 講 者 数
精神科訪問看護基本療養費の算定要件研修	3 日間 (6 単位)	受講者実数 11 名 全課程修了者 11 名 (延数 66 名)
○精神障害者の看護の基本と家族及び介護者等への支援 ○精神保健福祉の現状と動向 ○精神障害者の訪問看護の基礎及び動向と制度活用	8 月 22 日 (木)	
○精神訪問看護の実際①と事例検討 ○精神障害者の薬物療法と最新治療法	8 月 29 日 (木)	
○利用者家族と地域を支えるための多職種連携 ○精神科訪問看護の実際②と事例検討	9 月 5 日 (木)	
最近の感染症情報と感染管理について	10 月 2 日 (水) 半日 (1 単位)	受講者実数 18 名
認知症看護に必要な専門的知識・技術を有する看護師を養成する研修	2 日間 (4 単位)	受講者実数 22 名 全課程修了者 22 名 (延数 88 名)
○認知症高齢者の基本的なとらえ方と入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術 ○認知症の原因疾患と病態・治療及び行動・心理症状、せん妄の予防と対応法	11 月 7 日 (木)	
○認知症に必要な倫理的課題と意思決定支援及び患者・家族の意思決定を支援するエンドオブライフ・ケア ○コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法	11 月 8 日 (金)	
小児研修 不適切な養育環境にある子どもへの対応 ～看護職(支援者)の早期の気づきと支援へのつなぎ～	12 月 18 日 (木) 半日 (1 単位)	受講者実数 37 名
合 計	12 単位	受講者実数 88 名 (受講者延数 209 名)

令和 6 (2024) 年度 訪問看護師養成講習会報告

講習期間 : 令和 6 年 5 月 16 日 (木) ~ 7 月 18 日 (木) 11 日間 (実習 1 日含む)

募集人員 : 30 名

参加状況 :

	11 日間コース受講者数	地域及び在宅看護支援研修受講者数
受講者数	19	54
全科目履修者	6	
科目履修者	13	
受講者延数	283	
合計(受講者延数)	337	

講習内容 :

教科目名	単 元 科 目	単元内容	単位
訪問看護概論	保健医療福祉を巡る社会的動向と今後の展望	保健・医療・福祉を巡る社会的動向から訪問看護の使命を学ぶ	3
	訪問看護の機能と役割		
	在宅における医療安全		
対象論	高齢者の在宅療養を支える看護	対象の理解を深める	4
	訪問看護の対象となる在宅療養者の家族看護		
	精神障害者の看護		
	疾患や障害のある小児の看護		
訪問看護方法論	看護に求められるコミュニケーション	訪問看護に必要な基礎技術の確認と最新の知識・技術を習得する	11
	フィジカルアセスメント		
	在宅における感染管理		
	在宅における糖尿病患者のセルフケア		
	理学療法士から学ぶりハビリテーション		
	服薬管理		
	摂食・嚥下障害のケア		
	褥瘡・スキンケアの基礎知識		
	在宅における終末期ケア		
	認知症をもつ人の看護		
	在宅における急変時の対応と救急蘇生		
在宅ケアシステム論	在宅療養者を支える関係機関と社会資源	地域におけるケアシステムを学ぶ	1
ケアマネジメント論	住み慣れた地域で生活を支えるケアマネジメントの実際	マネジメントの過程を学ぶ	1
訪問看護実習	実習 1 日	訪問看護ステーションの機能と活動内容を学ぶ	2

(1 科目 1 単位 : 全 22 単位)

令和6(2024)年度 川崎市ナーシングセンター事業報告

平成5年、川崎市によって看護師等の資質向上と就業の促進等を図る看護活動の総合的拠点施設を目的に「川崎市ナーシングセンター」が開設され、一貫して看護職充足対策、現任看護職員研修、市民への看護普及啓発及び地域看護活動など、社会の要請に対応するための研修や活動を行ってきた。

また、令和3年度からは、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、環境整備等に留意するとともに、感染状況に応じてZOOMを活用して対応したが、5類感染症への移行後は、基本的な感染対策を継続しながら、より多くの看護職が受講しやすいように、ハイブリッド開催と土曜開催を増やすとともに、研修室の時間外利用も可能にしたことで、各看護団体が拠点として活用し、協会とも連携した活動に繋がっている。

1 川崎市ナーシングセンター運営委員会

事業運営は、看護関係者をはじめ医療関係者や行政、有識者からなる「川崎市ナーシングセンター運営委員会」を開催し、年間活動や計画を報告・審議するなど、委員会の意見を反映しながら活動を進めた。

開催回数・日程	活動内容
年1回 8月28日(月)	1 令和5年度事業実施報告 2 令和5年度決算報告 3 令和6年度事業実施計画(案)について 4 令和6年度収支予算(案)について 5 ナーシングセンターの運営について

2 川崎市ナーシングセンター事業及び研修

事業項目	実施事項	実施日・参加者数
I 看護師充足対策事業	1 未就業看護師等復職支援研修 <2日間コース/2回> 1日目①最近の医療・看護の動向 ②フィジカルアセスメント 2日目①感染症について ②「点滴、静脈・筋肉注射、採血」 「気管内吸引」講話と演習	第1回 6月18日・20日 受講実数13名 延数24名 第2回 11月12日・19日 受講実数12名 延数22名
	2 看護なんでも相談：通年実施 ・再就業相談・求職等の相談 ・進路・進学相談 ・看護職の研修に関する相談	相談実数 222件 延数 236件 64件 74件 39件 39件 119件 123件
	3 高校生等進路・進学相談会 看護専門学校、看護大学の紹介と個別相談	7月27日(土) 参加数14名
	4 看護師を目指す人のための説明会 (対象：川崎市在住のひとり親の方)	6月2月(日) 参加数4名
	5 復職支援の取組 ① KAWASAKI 看護の魅力発見フェア 会場：川崎市立川崎病院会議室 人材確保・定着推進委員会企画運営	①令和6年11月2日(土) 参加者 54名

事業項目	実施事項	実施日・参加者数
	②ミニたまゆり(小学生向け看護体験) 会場：田園調布学園大学	②令和6年11月17日(日) 参加者 19名
II 市民への看護 普及・啓発事業 まちの保健室相談事業	市民の健康相談・介護相談 相談内容(延数) ・育児相談 ・妊産婦の相談 ・疾病への対応 ・こころの相談 ・不妊相談 ・健康、介護等 ・訪問看護、病院等	通年実施 電話・来所面談等 2,158件 3件 2,026件 4件 45件 64件 7件 9件
III 看護職員研修事業	1 新人看護職員研修 1日×3.5日間 ※看護スキルのオプション研修「心不全患者のセルフケアを支援する看護」を同日開催(0.5日) 2 新人看護職員指導者研修 1日×2.5日間 3 看護管理研修「社会人基礎力育成研修」 半日間 4 看護研究の推進 (1) 看護研究の実践(前編・後編) (2) 看護研究・活動報告会(ハイブリッド開催) 5 看護協会研修計画表	①6月4・5・11日 9:30～16:30 受講者数21名 ②令和7年2月13日 9:00～11:30 受講者数17名 ①令和7年1月16日・17日 9:30～16:30 ②令和7年2月13日 9:00～12:00 受講者各13名 令和7年1月16日 13:30～16:30 受講者各7名 教育委員会(年8回) (1)前編 7月23日 13名 後編 9月10日 9名 (2) 令和7年2月27日 72名(会場43名 Web29名) 発表演題 19題 4,500部発行
IV 地域看護活動促進事業 1 看護連携推進委員会活動	○委員会 5回開催(例年は4回開催) 看護サマリーに求められる情報を明らかにし、これまでの検討経過を活動報告書にまとめる。 ○病院と地域の看護職の連携交流会開催 「看護サマリーに記載してほしい情報とは」情報を「受け取る側からの声」の報告会	第1回 5月21日 第2回 7月23日 第3回 10月22日 第4回 12月3日 第5回 令和7年2月7日 9月18日 参加者73名

事業項目	実施事項	実施日・参加者数
2 神奈川県訪問看護 ステーション協議会 川崎ブロックとの 連携・支援	○看護研究・活動報告会で発表 ○冊子「看護サマリーを有効に活用しよう」 ・役員会、総会に参加し、情報提供・共有 ・役員会、総会等の会場提供と運営支援 ・行政、関係機関からの連絡・照会等の 窓口支援	令和7年2月27日 令和7年3月31日発行 センター長（会長）出席
3 救護活動看護師派遣 等調整事業 4 その他	市事業等への救護依頼への対応 (令和6(2024)年度救護活動報告参照) 川崎市ナーシングセンター研修室利用 ※平日夜間、土・日利用開始	全33回 派遣実施 53名 利用回数 262回 利用者数 6,183名 ※うち土・日、夜間利用 看護関係団体等：14回 利用者数：340名

令和6(2024)年度川崎市看護協会立訪問看護ステーション等活動報告

当協会は、3か所の訪問看護ステーション（向丘・井田・かわさき）と指定居宅介護支援事業所（ケアプランセンター）を運営している。

業務実績及び共通の活動概要は以下の通りである。

- 1 在宅ケア経営会議・居宅介護支援事業所会議
円滑な事業所運営等について検討するため、月1回会議を開催している。
- 2 医療安全会議及び事例検討会（各事業所 月1回）
インシデント報告や分析、事例検討を行い、課題の共有や質の高い看護の実現に努めている。
- 3 安全対策委員会（年4回）安全対策委員会
事故防止・安全管理体制の充実を図るため各事業所所長及び事務局員を構成員とし課題の共有を図った。
令和6年度では、安全管理マニュアルの改訂検討、虐待報告事例の経過報告、感染対策に関する指針の作成等を行った。
- 4 職員研修会の開催

研修テーマ	ねらい	内容	開催日
医療安全とハラスメント対策	医療安全・ハラスメント対応についての理解を深め、日常の訪問看護実践を振り返り、安全で安心な看護サービスの提供について考える。	・各事業所の医療安全の取組を情報共有 ・ハラスメント対策の講義	4月27日（土）
認知症研修	認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や認知症ケアの原則、医療と介護の連携の重要性等の知識について習得する。	講義 令和6年度診療報酬改定での「認知症ケア加算」の施設基準における「認知症患者のアセスメントや看護方法等に係る適切な研修」に該当する研修	7月6日（土）
事務職員研修	事業所の円滑な運営のための事務を行う。	I C T運用について事務職員業務の共有、効率化を考える	7月17日（水）
在宅における感染管理研修	感染症対策に必要な基本の知識と技術を習得し、安全な看護実践につなげる。	講義と演習 （法定研修）	10月5日（土）
虐待防止研修会	高齢者虐待防止についての理解を深め、日常の訪問看護実践を振り返り、安全で安心な看護サービスの提供について考える。	講義とグループワーク （法定研修）	3月1日（土）

6 看護学生の実習受け入れ 計 28名（延124名）

7 病院看護職等の実習受け入れ 計 23名

向丘訪問看護ステーション

所長 小笠原 由香

平成 10 年に市民の熱心な要望により向丘診療所内に開設。同診療所の閉鎖とともに近隣へ移転し 25 年が経ちました。開設以来、宮前区、高津区（一部）多摩区（一部）を訪問エリアとして活動しています。

疾病を抱える子供から高齢者まで、地域住民の方々が安心した生活ができるように地域に密着したステーションを目指しています。また、多職種との連携を密に図り、利用者に寄り添った看護を提供できるように常に心がけています。

項 目	内 容
1 職員体制	管理者(所長) 1名 常勤看護師 4名 非常勤看護師 2名 常勤事務職員 1名 (令和 7 年 3 月 31 日現在)
2 事業内容	訪問看護事業 利用者実数 122 名 年間延べ訪問件数は 4,810 件 幅広い年齢の方々に対応するとともに、小児、癌末期及び医療的ケアの多い利用者へも積極的に訪問し、さらに希望に応じて営業日外、営業時間外での訪問へも柔軟に対応しています。また、医療的ケア児の小学校訪問や、多職種との連携も密に行っています。 市民の方々からの相談も受け、生活全般に困ったときに地域包括支援センター等との連携も図っています。
3 研修	事業所研修をはじめ、近隣医療機関や関連団体でのオンライン研修へも積極的に参加し、個々に研修目標を持って取り組んでいます。毎月、事例検討会や安全対策会議、勉強会も行い、看護の質の向上に努めています。
4 実習生の受け入れ	聖マリアンナ医科大学病院 4名
5 連携	・認知症疾患医療連携協議会委員 ・病院と在宅ケアネットワークの会への参加 ・看護連携推進委員会役員 ・神奈川県訪問看護ステーション協議会役員（会計監査）
6 今後の課題と対応	1 安定した経営と働きやすい職場環境の整備 2 研修の機会を積極的に設け、看護の質のさらなる向上を図る 3 多職種連携を密にし、地域住民が安心した生活を提供できる 4 感染及び災害対策強化、虐待防止の推進への対応を整理し、安全・安心な看護サービスを提供する

訪問看護ステーション井田

所長 吉崎 恵

中原区を中心に高津区、横浜市港北区の一部をエリアとして、地域に密着した活動を行っています。

終末期でも在宅での生活を希望され、在宅看取りの方も多くなっています。そのために医療、多職種連携を密にし、ご利用者様が安心できる環境を整え、寄り添う看護を心がけています。

項 目	内 容
1 職員体制	管理者（所長） 1名 常勤看護師 5名 非常勤看護師 6名 常勤事務職員 1名 （令和7年3月31日現在）
2 事業内容	訪問看護事業 利用者実数 163名 年間延べ訪問件数は 6,959件 医療依存度の高い方、末期状態の方の対応が多い現状であり、医療機関、各事業所との連携を速やかに取れるよう努力しています。 24時間緊急対応可能で、在宅看取りも行っています。
3 研修	事業所研修をはじめ、個人がそれぞれスキルを高めるため年間の研修計画を立てて参加しています。 月に1回の勉強会や参加した研修の伝達講習等を行っています。
4 実習生の受け入れ	武蔵野大学看護学部 19名 延 91名 川崎市看護協会訪問看護師養成講習会 5名 神奈川県看護協会セカンドレベル実習 4名 【地域病院現職看護職の実習】 川崎市病院局 3名
5 連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県・市の訪問看護ステーション協議会 ・ 未就業看護師等復職支援研修講師 ・ 川崎市立井田病院在宅医療部との週1回のカンファレンス参加 ・ 川崎市認知症訪問支援事業参加 ・ 川崎市「二十歳」を祝うつどい（成人式）の救護
6 今後の課題と対応	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者が地域で安心して療養生活ができるように、多職種連携を図る 2 職員が安心して働けるよう感染症対策を徹底する 3 利用者と職員の安全を守る為、インシデント、アクシデントの発生予防対策を徹底して行っていく 4 ICT化に伴い個人情報適切に扱うと共に更に保護に努める

かわさき訪問看護ステーション

所長 三浦 かつい

かわさき訪問看護ステーションは中原区のほぼ中央にあり、訪問エリアは中原区全域と幸区一部、高津区一部で活動をしています。

主治医や多職種と連携し、難病・障害・精神・小児・ターミナル期の利用者に訪問看護の知識と技術を提供し、ご利用者様が安心して充実した生活が送れるように心がけています。

項目	内容
1 職員体制	管理者（所長） 1名 常勤看護師 4名 非常勤看護師 3名 常勤事務職員 1名 （令和7年3月31日現在）
2 事業内容	訪問看護事業 利用者実数 121名 延べ訪問件数 6,648件 在宅看取り 7名／年 小児やターミナル期など、医療依存度の高い利用者に対しては毎日の訪問や病態状況によっては営業日以外の訪問も行っています。 管理困難な排泄やストーマケア等も皮膚・排泄ケア認定看護師が医療機関との密な連携を行い対応しています。また、川崎市教育委員会からの依頼による小学校訪問にも柔軟に対応しています。
3 研修	毎月、事例検討会・安全対策会議を所内で開催し、各個人研修計画に沿った研修（オンライン研修含む）や事業所研修に参加する事で看護の資質を高め、安全で確実なケアが提供できるよう自己研鑽に努めています。その他、医療機関や他職種連携会議、大学実習報告のための連絡協議会等にも参加しています。
4 実習生の受け入れ	武蔵野大学看護学部 8名 延 32名 川崎市看護協会訪問看護師養成講習会 2名 国際医療福祉大学生涯学習センター 1名 【地域病院現職看護職の実習】 川崎市病院局 5名
5 連携	県・市の訪問看護ステーション協議会 認知症疾患医療センター地域連携 川崎市立看護大学看護倫理学シンポジウムの講演 医療的ケア児の校内委員会 川崎市青年フィスティブアル、市民体力テスト等の救護
6 今後の課題と対応	1 安定した経営が維持できるよう利用者の安定的確保を図る 2 専門職として多職種と連携を図り、利用者の思いを共有し地域との絆を結ぶ役割を果たす 3 適切で安心した看護が提供できるよう研修参加しやすい環境作りや所内での定期的な勉強会を行い職員の資質の向上を図る 4 業務や環境の整備を行い、安心して働きやすい職場の環境作りに取り組む

令和6(2024)年度 訪問看護ステーション別訪問活動状況

令和6年4月～令和7年3月

項目		ステーション名	向丘訪問看護 ステーション	訪問看護 ステーション井田	かわさき訪問看護 ステーション 平成12年8月 県看護協会より移管 (平成7年8月開設)	合計
			平成10年10月開設	平成10年10月開設		
常勤換算看護職員数			4.5	7.2	6.1	17.8
利用者実数			122	163	121	406
延べ訪問件数			4,810	6,959	6,648	18,417
保険請求件数			4,558	6,941	6,080	17,579
内訳	介護給付(件)		2,882	3,641	1,843	8,366
	予防給付(件)		238	508	448	1,194
	医療保険(件)		1,438	2,792	3,789	8,019
保険外訪問件数			252	18	566	836
年齢別	15歳以下		4	1	9	14
	16～39歳		5	4	3	12
	40～64歳		14	27	33	74
	65歳以上		99	131	76	306
保険別・介護別	介護保険	要支援1、2	7	10	5	22
		要介護1	22	13	16	51
		要介護2	26	17	8	51
		要介護3	10	12	12	34
		要介護4	6	9	2	17
		要介護5	11	7	8	26
		申請中	0	0	0	0
	計	82	68	51	201	
	医療保険	38	95	65	198	
	保険外他	2	0	5	7	
計	122	163	121	406		
主たる病名	悪性新生物	24	61	19	104	
	感染症	1	1	0	2	
	中毒・外傷など	0	0	2	2	
	脳血管疾患	5	5	3	13	
	循環器疾患	12	21	14	47	
	呼吸器疾患	8	6	4	18	
	消化器疾患	4	4	7	15	
	筋・骨格系疾患	8	8	7	23	
	内分泌疾患	14	10	10	34	
	泌尿器・腎疾患	6	3	5	14	
	皮膚疾患	5	5	1	11	
	神経難病	3	3	11	17	
	その他の難病	0	0	1	1	
	精神疾患	9	19	32	60	
	認知症	11	15	3	29	
	心身障害	6	2	2	10	
その他	6	0	0	6		
計	122	163	121	406		
終了者の状況	軽快・不変	7	0	1	8	
	入院	10	1	13	24	
	入所	7	6	4	17	
	死亡	自宅	14	19	8	41
		病院	6	20	2	28
	その他	2	15	8	25	
計	46	61	36	143		

訪問看護実施内容(複数)

令和6年4月～令和7年3月

処置項目	処置内容	向 丘 訪問看護 ステーション	訪問看護 ステーション 井 田	かわさき 訪問看護 ステーション	合 計
測定・観察	全身状態の観察	4,529	6,883	6,050	17,462
	環境整備・調整	4,249	2,272	2,855	9,376
	睡眠のケア・指導	2,661	5,991	1,258	9,910
	精神的支援	4,525	6,809	3,593	14,927
	服薬指導・管理・介助	4,233	4,607	4,405	13,245
	皮膚の状態の観察	4,008	4,467	3,536	12,011
	栄養(食事・水分)指導	3,941	2,598	3,533	10,072
	療養生活の指導	4,499	5,577	1,555	11,631
	介護者・家族の相談・指導	2,095	1,337	1,200	4,632
リハビリテーション	リハビリテーション	879	710	976	2,565
	日常生活動作訓練	486	138	215	839
	体位変換	136	254	188	578
	移動介助	106	244	833	1,183
	マッサージ	112	578	717	1,407
	呼吸リハビリ	31	139	150	320
	嚥下訓練	18	77	65	160
	認知症トレーニング	43	200		243
	歩行練習	486	148	386	1,020
保清	入浴介助	198	469	935	1,602
	シャワー浴介助	371	1,179	368	1,918
	清拭	395	887	315	1,597
	洗髪	497	1,503	981	2,981
	陰部洗浄	290	1,151	480	1,921
	足浴	342	421	644	1,407
	手浴	29	45	34	108
	爪切り	537	715	585	1,837
	髭剃り	78	26	35	139
	口腔ケア	26	171	21	218
	更衣	635	1,624	1,290	3,549
	寝具交換	12	34	18	64
排泄援助	浣腸	240	528	479	1,247
	座薬	12	210	388	610
	摘便	230	609	68	907
	オムツ交換	415	1,017	877	2,309
	腹部マッサージ	158	945	421	1,524
呼吸管理	吸引	181	124	209	514
	在宅酸素療法管理	355	355	167	877
	人工呼吸器管理	117	2	48	167
	気管カニューレ管理	159	172	145	476
	吸入	29	4	120	153

褥瘡・創処置	褥瘡処置	80	132	74	286
	創部の観察・処置	226	809	413	1,448
ストーマ管理	ストーマ装具交換施行	245	588	537	1,370
	ストーマ装具交換見守り	40	208	51	299
カテーテル管理	胃瘻・経管栄養管理	143	235	181	559
	膀胱留置カテーテル管理	136	384	326	846
	留置カテーテル管理	65	215	187	467
輸液・注射	血糖測定	713	216	154	1,083
	注射施行	164	154	43	361
	注射見守り	652	119	142	913
	CVポート管理	47	47	44	138
	CVポート・ルート交換	34	32	118	184
	末梢点滴施行・管理	6	6	91	103
	皮下点滴施行・管理	31	78	74	183
食事援助	食事介助	10	76	54	140
	水分介助	68	405	235	708
連携	医師との連絡・調整	249	432	332	1,013
	ケアマネとの連絡・調整	264	438	294	996
	関係機関との連絡調整	111	148	273	532
ターミナルケア	疼痛コントロール	28	32	5	65
	ターミナルケア	27	22	25	74
麻薬の管理	麻薬の管理(服薬)	87	304	37	428
	麻薬の管理(注射)	14	51	9	74
合 計		45,783	60,351	43,842	149,976

川崎市看護協会ケアプランセンター

所長 大石 建

令和6年度も感染防止対策として、マスク着用や手洗いなどを実施しながら業務を推進した。協会立訪問看護ステーション（かわさき・井田・向丘）と緊密な連携を図りながら、利用者が住み慣れた地域で安心して療養生活が送れるように支援を行ってきた。

今後も医療機関をはじめ関係機関と連携を図りながら、利用者に寄り添った支援を行っていききたい。

項目	内容
1 職員体制	管理者（所長） 1名 （主任介護支援専門員専従）
2 事業内容	居宅介護支援事業 癌末期や難病など、医療依存度の高い人をはじめ、要介護認定を受けた人が自宅で介護サービスを受けながら安心して生活ができるよう、きめ細やかなケアマネジメントを実施しています。また、訪問看護ステーションをはじめ、様々な機関と連携を図りながら、本人及び家族に寄り添った支援を行っています。
3 研修	事業所研修において法令順守や個人情報保護、虐待防止、認知症ケアなど介護支援専門員としての質の向上を図るとともに、外部研修にも参加しています。 また、毎月安全対策会議や虐待防止委員会を開催し、安全で質の高いケアマネジメントが提供できるよう努めています。
4 連携	<ul style="list-style-type: none">・神奈川県介護支援専門員協会への参加・地域包括支援センター主催のケアマネジメント調整会議への参加・近隣総合病院の地域連携室との連携・近隣クリニックとの連携
5 今後の課題と対応	安定的な運営を維持する為には利用者確保が課題であり、今後も医療機関や訪問看護ステーション、地域包括支援センターなどと連携を図り、利用者数を維持していく。

令和6(2024)年度 居宅介護支援事業所活動状況

令和6年4月～令和7年3月

川崎市看護協会ケアプランセンター								
利用者実数		80	訪利用 問用者 看護数	協会立訪問看護ステーション		41		
延べ数		521		その他のステーション		10		
新規利用者		38		合計		51		
年齢別	40～64歳		5	地域別	中原区		65	
	65～74歳		11		高津区		1	
	75歳以上		64		宮前区		14	
	合計		80		多摩区		0	
					合計		80	
介護度別	要支援1		1	依頼経路	本人・家族		8	
	要支援2		5		医療機関	医師		0
	要介護1		19			看護師		16
	要介護2		32			MSW		6
	要介護3		12		行政機関		0	
	要介護4		4		地域包括支援センター		49	
	要介護5		7		その他		1	
	合計		80		合計		80	
主たる病名	悪性新生物		48	終了者の状況	軽快・不変		2	
	脳血管疾患		5		入院		0	
	循環器疾患		4		入所		11	
	呼吸器疾患		5		死亡(自宅)		12	
	消化器疾患		1		死亡(病院)		4	
	内分泌疾患		5		その他		4	
	筋・骨格系疾患		3		合計		33	
	泌尿器・腎疾患		0					
	皮膚疾患		1					
	精神疾患		1					
	認知症		3					
	神経難病		4					
	その他の難病		0					
	その他		0					
	合計		80					

令和 6 (2024) 年度救護活動報告

日程	救護依頼の事業内容	救護員 依頼人数	所属	救護参加 人数
4/28 (日)	川崎市障害者スポーツ大会 (水泳大会)	1名	川崎市立多摩病院	1名
6/8 (土)	川崎市中学校通信陸上競技大会	1名	日本医科大学武蔵小杉病院	1名
6/9 (日)	川崎市中学校通信陸上競技大会	1名	日本医科大学武蔵小杉病院	1名
6/23 (日)	すくらむ21まつり	1名	個人会員	1名
6/28 (金)	まいばすけっとの森づくり活動	1名	川崎市立多摩病院	1名
6/29 (土)	アッと等々カフェス	2名	日本医科大学武蔵小杉病院	2名
7/13 (土)	神奈川県総合体育大会川崎ブロック 大会 新体操	1名	関東労災病院	1名
7/14 (日)	神奈川県総合体育大会川崎ブロック 大会 体操	1名	関東労災病院	1名
7/28 (日)	市民水泳競技大会	2名	川崎幸病院	2名
8/4 (日)	全中原中学生卓球大会	1名	川崎協同病院	1名
8/4 (日)	高津区市民体力テスト	2名	総合高津中央病院	2名
9/1 (日)	多摩区市民体力テスト	2名	麻生総合病院	2名
9/3 (火) ~9/5 (木)	能登半島地震復興支援 川崎市青少 年復興応援隊(2泊3日)	1名	鹿島田病院	1名
9/8 (日)	麻生区市民体力テスト	2名	たま日吉台病院 川崎みどりの病院	2名
9/14 (土)	川崎市中学校総合体育大会 陸上	1名	日本医科大学武蔵小杉病院	1名
9/15 (日)	川崎市中学校総合体育大会 陸上	1名	日本医科大学武蔵小杉病院	1名
9/28 (土)	川崎市中学校総合体育大会 新体操	1名	関東労災病院	1名
9/29 (日)	川崎市中学校総合体育大会 体操	1名	関東労災病院	1名
10/5 (土)	川崎市中学校総合体育大会 相撲	1名	AOI国際病院	1名
10/5 (土)	川崎市制記念多摩川花火大会	4名	川崎市立井田病院	4名
10/中旬	転地療養 (3泊4日) 未実施	/		/
10/11 (金)	まいばすけっとの森づくり活動	1名	鹿島田病院	1名

10/12 (土)	中央地区老人クラブ連合会 スポーツ大会	1名	太田総合病院	1名
10/12 (土)	川崎市秋季市民相撲大会	1名	川崎市看護協会	1名
10/14 (月祝)	川崎区市民体カテスト	2名	宮川病院	2名
10/14 (月祝)	幸区市民体カテスト	2名	総合川崎臨港病院	2名
10/20 (日)	中原区市民体カテスト	2名	京浜総合病院	2名
10/20 (日)	宮前区市民体カテスト 選挙で中止	2名	聖マリアンナ医科大学病院 久地診療所	※ 0名
10/25 (金)	川崎市中学校総合体育大会 駅伝	1名	日本医科大学武蔵小杉病院	1名
11/8 (金)	まいばすけっとの森づくり活動	1名	柿生記念病院	1名
11/10 (日)	川崎市中小企業大運動会	2名	新川橋病院 宮川病院	2名
11/17 (日)	インターナショナルフェスティバル	2名	個人会員	2名
12/7 (金) ～12/8 (土)	かわさき市民祭り	4名/1日 計8名	AOI国際病院 総合新川橋病院	4名/1日 計8名
R7/1/13 (月祝)	川崎市「二十歳を祝うつどい」	1名	訪問看護ステーション井田	1名
R7/3/9 (日)	川崎市青少年フェスティバル	1名	かわさき訪問看護ステーション	1名
合計	33回	55名		53名

*斜線は今年度、事業中止のため依頼なし

*※印については、選挙で場所が確保できず中止

令和6(2024)年度理事会報告

会長 堀田 彰恵

- I 開催回数 6回（内4回はリモート併用）
開催場所 川崎市ナーシングセンター研修室及びリモート会場

II 開催状況

	日 程	出席者数		
		理事	監事	事務局
第1回	令和6年 5月17日（金）	14 (1)	2	8
第2回	令和6年 6月28日（金）	11	2	8
第3回	令和6年 7月19日（金）	11 (2)	2	8
第4回	令和6年10月18日（金）	12 (2)	2	8
第5回	令和7年 1月23日（木）	12	2	8
第6回	令和7年 3月14日（金）	12 (2)	2	8

※（ ）内はリモート出席者数で再掲

III 主な内容

<第1回>

■審議事項

- 1 令和5年度事業報告・収支決算報告及び監査報告について
- 2 令和6年度会常任委員会委員（案）について
- 3 令和6年度通常総会について
- 4 令和7年度川崎市予算編成等に関する要望書（案）について
- 5 職員就業規程及び非常勤職員就業規程の一部改正について

■報告事項

- 1 委員会活動報告（各常任委員会の令和5年度の活動及び令和6年度の活動計画）
- 2 事業報告（ナーシングセンター利用実績等、協会立訪問看護ステーション等事業ほか）
- 3 役員業務報告（会長及び常務理事出席会議等）
- 4 事務局報告（人事異動につて）
- 5 その他（CHANGEプロジェクトにおけるコンソーシアム設立ほか）

<第2回>

■審議事項

- 1 令和7年度川崎市予算編成等に関する要望書（案）について
- 2 その他（「経営改善計画（仮）」の策定について）

■報告事項

- 1 委員会活動報告（災害・救護委員会、看護プロボノ推進委員会活動）
- 2 常任委員会合同会議について
- 3 事業報告（就労相談周知用チラシ作成）
- 4 その他（能登半島地震派遣、市制100周年記念表彰ほか）

<第3回>

■審議事項

- 1 プロジェクト CHANGE コンソーシアム（仮）への参画について
- 2 看護協会会費の口座振替導入について

■報告事項

- 1 委員会活動報告（各常任委員会活動、インスタグラムの活用、ハローワーク看護職セミナー）
- 2 役員業務報告（会長及び常務理事出席会議、予算要望行動）
- 3 事務局報告（令和6年度予算執行状況）
- 4 その他（市制100周年記念式典「市政功労賞」受賞、特別研修企画）

<第4回>

■審議事項

- 1 職員就業規程等の一部改正について
- 2 令和7年新春交流会について
- 3 看護フェスタ2025の開催について
- 4 協会会費の口座振替の導入について

■報告事項

- 1 委員会活動報告（前回以降の各常任委員会活動、災害・救護委員会活動、外部理事）
- 2 事業報告（ナーシングセンター事業、事務局担当研修、協会立事業所研修ほか）
- 3 役員職務施行状況報告（会長及び常務理事出席会議等）
- 4 事務局報告（川崎市議会関連質疑・答弁、令和6年度予算執行状況・決算見込、資金運用、協会立ケアプランセンターの経営改善案）
- 5 その他（高校生・大学生ボランティアバス「能登半島地震復興支援」、看護大学院開学記念シン

ポジウム、休日急患診療所看護管理業務への協力ほか)

<第5回>

■審議事項

- 1 令和7年度の取組について（重点事業、事業計画、研修計画）
- 2 看護フェスタ2025について
- 3 各種規程類の一部改正について
- 4 その他（令和7年度理事会開催日程について、設立30周年記念事業について）

■報告事項

- 1 委員会活動報告（前回以降の各常任委員会活動）
- 2 事業報告（日本医科大看護学部・大学院設置に係る要望書、かわさきケアデザインコンソーシアムキックオフシンポ開催）
- 3 役員職務執行状況報告（会長及び常務理事出席会議）
- 4 事務局連絡（人事異動、令和6年度予算執行状況・決算見込）
- 5 その他（リラックス交流サロン、新春交流会）

<第6回>

■審議事項

- 1 令和7年度川崎市看護協会事業計画及び収支予算について
- 2 令和7年度川崎市看護協会通常総会について
- 3 看護フェスタ in かわさき2025について
- 4 職員給与規程及び非常勤職員賃金規程の一部改正について
- 5 その他（資産取得資金の取扱について）

■報告事項

- 1 委員会活動報告（前回以降の各常任委員会活動、推薦委員会のあり方）
- 2 事業報告（看護連携推進委員会「看護サマリーを有効に活用しよう」、医師会「医療人材募集サイト」掲載への関与）
- 3 役員職務執行状況報告（会長、副会長及び常務理事出席会議）
- 4 事務局報告（人事異動、令和6年度予算執行状況・決算見込）
- 5 その他（看護協会設立30周年記念事業（イベント）について、かわさきケアデザインコンソーシアムイベント報告、各団体情報提供）

令和 6(2024)年度常任委員会活動報告

推薦委員会

委員長 鈴木 良子

活動目標

- 1 令和 7 年度川崎市看護協会役員候補者の推薦を行う
- 2 川崎市看護協会の活動を支援する

活動内容

- 1 役員候補者の推薦及び公募
- 2 推薦委員会の要綱の見直し
- 3 看護協会ニュース掲載内容の検討
- 4 通常総会の準備

活動の実績

項目	内 容	開催日	場 所	出席者数
定例会 5 回	第 1 回 (会員委員会と合同で開催) ・新人交流会の内容及び運営 について	4/25	川崎市ナーシングセンター	5 名
	第 2 回・委員長・副委員長選出 ・会長、理事の任期確認 ・今年度の年間計画について	7/5	川崎市ナーシングセンター	6 名
	第 3 回・定款、選挙管理規則、推薦 委員会の役割の確認 ・推薦委員会要綱の改訂につ いて ・現役員の継続意向確認につ いて	9/20	川崎市ナーシングセンター	6 名
	第 4 回・外部理事選任について ・団体推薦理事の任期満了に 伴う次期役員候補者の推薦 依頼について ・今後の活動予定の確認	12/11	川崎市ナーシングセンター	6 名
	第 5 回・推薦する候補者リストの確認 (理事会に提出する準備) ・今年度の活動報告と次年度の 活動について	2/19	川崎市ナーシングセンター	5 名
交流会	新人交流会 つながろう、かわさき新人ナース (会員委員会と合同開催)	7/10	川崎市ナーシングセンター	参加者 18 名 委員 6 名
学会発表	なし			

教育委員会

委員長 小倉久美子

活動目標

1. 市内看護職が看護研究の基礎を学び、論文作成できるように支援する
2. 看護研究発表・活動報告会を企画運営し、多岐にわたる分野の発表を集め、学びの場とする
3. 協会研修の効果的な実施に係る意見を発信する

活動内容

1. 看護研究の基礎及び論文作成に関する研修の企画・運営
2. 看護研究発表会・活動報告会開催の運営
3. 次年度の研修計画立案への参画

活動の実績

項目	内 容	開催日	場 所	出席者数
定例会 9回	第1回 看護研究の実践（前編・後編） 研修会の打合せ・資料作成	6/10	川崎市ナースングセンター	6名
	第2回 合同委員会 委員長・副委員長選出、年間計画・ 担当者決定、協会の活動指針と委員会の 今後の方向性・活動内容の検討 看護研究の実践研修会の確認	7/5	川崎市ナースングセンター	8名
	第3回 看護研究の実践（前編）研修会 の評価、抄録の書き方の検討 *川崎市の看護職者を対象とした研修ニー ズ調査とインタビュー調査について検討	8/2	川崎市ナースングセンター	7名
	第4回 看護研究の実践（後編）の研修評価	9/24	川崎市ナースングセンター	8名
	第5回 看護研究・活動報告会の募集要 項について検討、令和6年度研修計画 （案）の検討	10/21	川崎市ナースングセンター	6名
	第6回 看護研究・活動報告会申込の進 捗について確認、活動報告用フォーマット 作成、令和7年度研修計画案の検討	11/26	川崎市ナースングセンター	6名
	第7回 第1回査読	12/20	川崎市ナースングセンター	7名
	第8回 第2回査読	1/10	川崎市ナースングセンター	8名
	第9回 看護研究・活動報告会の評価、 今年度委員会活動の評価、次年度への 課題の抽出	3/11	川崎市ナースングセンター	8名

研修会 2回	看護研究の実践（前編）	7/23	川崎市立看護大学	受講者 実数 13名 延 22名 委員 10名 (2日間)
	看護研究の実践（後編） 講師 川崎市立看護大学 糸井先生 岩瀬先生 松田先生 図書館司書 3名	9/10	川崎市立看護大学	
発表会	令和6年度看護研究・活動報告会 発表演題 19題 講評 川崎市立看護大学 糸井先生 荒木田先生 岩瀬先生	2/27	川崎市ナーシングセンター (会場・WEB同時開催)	会場 43名 WEB 29名 委員9名
その他	◎FMかわさき ラジオ収録に参加	1/10		委員2名
	◎川崎市の看護職者を対象とした研修ニーズ調査 *調査結果から、次年度看護管理者を対象とした看護管理研修を実施予定。	10月	Web調査	回答者 85施設
	◎研修ニーズ調査・インタビュー調査の結果から在宅訪問診療に同行する看護師を対象とした研修・交流会を企画実施	3/1	川崎市ナーシングセンター	参加者 6名 委員5名
学会発表	第28回看護管理学会	8/23	名古屋国際会議場	委員5名

広報委員会

委員長 志民 明

活動目標

- 1 会員への協会活動の周知、市民への広報活動
- 2 看護に関する情報の収集、提供

活動内容

- 1 委員会開催（年 6 回）
- 2 川崎市看護協会ニュースの企画・編集
- 3 川崎市看護協会ニュースの発行（年 4 回）

活動の実績

項目	内 容	開催日	場 所	出席者数
定例会 6 回	第 1 回 ・市民目線の紙面作りに向けて ・113 号企画編集 看護フェスタ、研修案内について	6/3	川崎市ナーシングセンター	5 名
	第 2 回 ・合同委員会、 年間の活動計画確認 Instagram の提案 ・113 号企画編集	7/5	川崎市ナーシングセンター	6 名
	第 3 回 ・Instagram 開設、HP 見直し ・114 号企画編集 各委員会の紹介、キャリアについて ※113 号（8/24）発行	8/5	川崎市ナーシングセンター	5 名
	第 4 回 ・114/115 号企画編集 広報委員による直接取材掲載 ※114 号（10/19）発行	9/2	川崎市ナーシングセンター	5 名
	第 5 回 ・来年度の市内職場のレポート計画 ・115/116 号企画編集 ※115 号（1/15）発行	12/2	川崎市ナーシングセンター	5 名

	第6回 ・今年度のまとめ ・次年度の活動計画 ・116/117号企画編集 ※116号(3/28)発行	3/3	川崎市ナーシングセンター	6名
研修会	なし			
学会発表	なし			

看護プロボノ推進委員会

委員長 今井 真喜

活動目標

- 1 市民向けに看護普及、啓発をする
- 2 市民の健康、安心の確保に看護の力を発揮する
- 3 看護職の成長の場（市民と共にある姿）とする

活動内容

- 1 新たな取組の趣旨を市民・看護職に知ってもらうイベントの開催
- 2 自主活動グループの活動支援

活動の実績

項目	内 容	開催日	場 所	出席者数
定例会 10回	第1回 ・プロボノ審査 ・イベント準備の共有	4/11	ZOOM 開催	6名
	第2回 ・6月16日イベント打ち合わせ	5/10	川崎市ナーシングセンター	6名
	第3回 ・合同委員会 委員長・副委員長選出 年間活動計画・役割分担検討 ・看護自主活動の要綱と規約の改訂	7/5	川崎市ナーシングセンター	6名
	第4回 ・イベント報告書の作成	8/2	川崎市ナーシングセンター	6名
	第5回 ・川崎市看護協会HP掲載内容の検討 ・10月協会ニュース掲載内容の検討 ・看護自主活動広報活動の検討	9/13	川崎市ナーシングセンター	6名
	第6回 ・プロボノ推進委員会のPR 動画の検討 ・自主活動グループの取材の検討	10/25	川崎市ナーシングセンター	6名
	第7回 ・自主活動グループのインタビュー内容の検討 ・SNSを活用した広報活動の検討	11/22	川崎市ナーシングセンター	4名

項目	内 容	開催日	場 所	出席者数
	第 8 回 ・おせっかいナースの会参加 の報告と動画の共有 ・今後の自主活動の確認 ・自主活動についての看護師 への周知活動の検討	12/12	川崎市ナーシングセンター	6 名
	第 9 回 ・自主活動報告書の内容確認、 共有 ・看護フェスタについての検討 ・来年度の委員会日の選定	2/21	川崎市ナーシングセンター	6 名
	第 10 回 ・プロボノ審査 ・看護フェスタ準備	3/6	川崎市ナーシングセンター	6 名
その他	◎プロボノイベント	6/16	エポックなかはら	6 名 (来所者 59 名)
	◎おせっかいナースの会 PR 撮影	11/30	川崎市ナーシングセンター	2 名
	◎まちの減災ナース研修 PR 撮影	1/18	川崎市ナーシングセンター	2 名
学会発表	なし			

会員委員会

委員長 的場 千江子

活動目標

- 1 新規会員の増加を推進する
- 2 会員の交流を図る

活動内容

- 1 新入会員を増やし、退会者を減らす取組
 - ① 協会の魅力を伝えるパンフレットの随時改訂
 - ② 新入看護職員・未加入者・小規模職場へのPR活動
 - ③ 会員の福利厚生の実施に向けた活動
- 2 交流会の企画・運営
- 3 通常総会の運営協力

活動の実績

項目	内容	開催日	場 所	出席者数
定例会 6回	第1回・新人交流会の内容検討 ・6月28日 総会について ・各施設へのPR活動	4/25	川崎市ナーシングセンター	10名 会員委員 5名
	第2回・新人交流会について ・会員交流会について ・今年度の活動報告と次年度の活動方針について	7/5	川崎市ナーシングセンター	6名
	第3回・新人交流会報告書作成 ・会員交流会 VR/AR 体験と見学について ・会員更新手続きについて ・協会会員福利厚生について	9/13	川崎市ナーシングセンター	6名
	第4回・会員交流会について「VR/AR 体験と見学について」 ・来年度新人交流会について	12/16	川崎市ナーシングセンター	5名
	第5回・今年度の活動報告 ・来年度活動計画 ・新人研修会チラシ、協会ニュース文作成 ・賛助会員の検討 ・新年度入会キャンペーン検討	2/4	川崎市ナーシングセンター	5名

項目	内 容	開催日	場 所	出席者数
	第6回・新人交流会の打合せ ・会員交流会の内容検討 ・賛助会員のネーミング検討	3/13	川崎市ナーシングセンター	6名
新 人 交流会	・2年目先輩ナースからの話 ・グループ対抗ゲーム ・交流会	7/10	川崎市ナーシングセンター	参加18名 委員5名
会 員 交流会	第1回 ・メドトロニックイノベーションセンター見学会 ・AR体験 ・VR体験 ・Viewtify CT/MRIから3DCG ・ナノ医療イノベーションセンターiCONM見学 ・交流会 第2回 第1回同様	10/25 11/15	・メドトロニックイノベーションセンター ・ナノ医療イノベーションセンター ・メドトロニックイノベーションセンター ・ナノ医療イノベーションセンター	参加3名 委員4名 参加10名 委員2名
学会発表	なし			

労働環境改善推進委員会

委員長 高田 恭子

活動目標

- 1 看護職の労働環境の課題を抽出し、解決の糸口を検討する
- 2 看護職以外の視点・能力を効果的に活用し、労働環境改善に向けての取組を推進する

活動内容

- 1 労働環境の課題を抽出する方法を検討し、実施する
- 2 ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) で行われているプロジェクトCHANGEと協働し、労働環境改善に向けた取組を行う
- 3 労働環境改善をテーマにしたワークショップを開催する

活動の実績

項目	内容	開催日	場所	出席者数
定例会 全6回	第1回 ・次年度へ向けて	5/24	川崎市ナーシングセンター	7名
	第2回 ・今年年度の方向性・活動計画 ・あったらいいな協会ニュースについて	7/5	川崎市ナーシングセンター	7名
	第3回 ・ワークショップについて ・島崎先生と打ち合わせ	8/3	川崎市ナーシングセンター	7名
	第4回 ・ナノイノベーションセンター訪問 ・ワークショップ企画について	9/27	ナノ医療イノベーションセンター	6名
	第5回 ・ワークショップ役割決め	11/29	川崎市ナーシングセンター	7名
	第6回 ・ワークショップ振り返り ・今年度の振り返り ・来年度の計画	2/14	川崎市ナーシングセンター	7名
研修会	ワークショップ 「安心して働き続ける職場環境を目指して」	12/10	川崎市ナーシングセンター	7名 (参加総数44名)
学会発表	なし			

地域連携推進委員会

委員長 小山 恵

活動目標

- 1 在宅医療の推進の為、多職種連携・在宅看護の質を高める

活動内容

- 1 多職種連携交流会の企画・開催
- 2 交流会アンケート結果から、今後の多職種連携における課題を明確にする

活動の実績

項目	内容	開催日	場所	出席者数
定例会 5回	第1回 交流会の役割分担確認	4/17	川崎市ナーシングセンター	5名
	第2回 合同委員会 活動目標・活動内容確認 多職種連携交流会内容確認	7/5	川崎市ナーシングセンター	5名
	第3回 多職種連携交流会当日の運営 確認・役割分担	8/21	川崎市ナーシングセンター	4名
	第4回 多職種連携交流会反省会 アンケート集計・分析・報告 次年度の研修テーマ決定	9/10	川崎市ナーシングセンター	2名
	第5回 次年度の活動内容確認	11/27	川崎市ナーシングセンター	4名
研修会	多職種連携交流会 講師:三浦靖彦 先生 岩手保健医療大学成人看護学 教授 テーマ:「地域で育む臨床倫理」 ～本人・家族にとっての最善を実現する支援とは～	8/24	川崎市ナーシングセンター	委員4名 参加者数 53名 会場14名 Web39名
学会発表	なし			

人材確保・定着推進委員会

委員長 森本 順子

活動目標

- 1 川崎市内で循環できる看護職者の確保定着を推進する
- 2 川崎市内で看護業務活躍の場や実際を情報提供する

活動内容

- 1 人材確保と定着のためのフェア（座談会・広報・実技など）企画・運営
- 2 人材確保のためにどのように看護の魅力伝えていくか、川崎市内や神奈川県内の看護大学や専門学校と協力し広報活動

活動の実績

項目	内容	開催日	場所	出席者数
定例会 7回	第1回 今年度の委員会活動について 市内で人材確保支援体制構築の検討 (イベント企画)	5/10	川崎市ナースングセンター	7名
	第2回 イベント企画・検討・日程調整 看護の魅力をアピールするため方策 検討(対象・広報・内容)	7/5	川崎市ナースングセンター	5名
	第3回 イベント企画について 『KAWASAKI 看護の魅力発見フェア 2024』名称決定・ちらし草案・アンケ ート案・企画内容確認・広報手段など	7/26	川崎市ナースングセンター	6名
	第4回 イベント運営内容詳細確認 各ブース協力者・シンポジスト・展示 ポスター内容確認	8/9	川崎市ナースングセンター	7名
	第5回 イベント運営内容詳細確認	9/27	川崎市ナースングセンター	6名
	第6回 イベントリハーサルと準備 ミニたまゆりイベント参加企画 日時・場所・対象など詳細決定	10/25	川崎市立川崎病院	6名
	第7回 イベント評価・次年度計画	1/10	川崎市ナースングセンター	6名
研修会	1)「KAWASAKI 看護の魅力発見フェア 2024」 来場者 40名(看護職 11名/医療従事者 2名/看護学生 6名/一般学生 9名/他一 般 12名)	11/2	川崎市立川崎病院	7名

	<p>内容：シンポジウム・展示・実技支援（疑似病室など）・進路相談・就労相談等（協力者 14 名）</p> <p>2) 「ミニたまゆり」企画参加 対象：5 歳～中学 3 年生（予約制） 参加者：19 名 内容：外来体験・問診・注射・創傷処置 ユニフォーム着用写真撮影</p>	11/17	田園調布学園大学	7 名
学会発表	なし			

災害・救護委員会

委員長 伊藤 由美香

活動目標

- 1 災害時看護支援ボランティアナース登録者数を増員する。
- 2 災害時看護支援ボランティアナースが互いの関係性を構築し、平時からの減災活動も含めた看護支援活動を実践する。

活動内容

- 1 平時及び災害時の市民の健康と生活を視野に入れた看護支援活動を実践できるよう、必要な取組を実践する。

活動の実績

項目	内容	開催日	場所	出席者数
定例会 6回	第1回 合同委員会 委員長、副委員長選出 各区担当決め 令和6年度活動内容検討	7/5	川崎市ナーシングセンター	5名
	第2回 フォロー研修内容検討 交流会内容検討	7/23	川崎市ナーシングセンター	4名
	第3回 交流会運営打合せ 今後の防災訓練の予定の報告	10/28	川崎市ナーシングセンター	6名
	第4回 備えるフェスタ最終確認 交流会の打合せ	11/19	川崎市ナーシングセンター	6名
	第5回 交流会最終打合せ 防災訓練 活動報告	12/17	川崎市ナーシングセンター	5名
	第6回 今年度の活動報告 次年度目標・活動内容検討	2/4	川崎市ナーシングセンター	7名
研修会	ボランティアナースフォロー研修	11/6	川崎市ナーシングセンター	23名 (委員6名)
	備えるフェスタ2024	12/7	新百合ヶ丘駅南口 ペDESTリアンデッキ	315名 (委員5名)
	ボランティアナース交流会	1/28	川崎市ナーシングセンター	7名 (委員6名)
学会発表	なし			

令和6(2024)年度川崎市ナーシングセンター委員会の報告

看護連携推進委員会

委員長 山上 明日

〔活動目標〕

病院と地域の看護職同士の連携を密にし、的確な情報に基づいて安全で安心したサービス提供ができるようにする。

〔活動実績〕

開催回数	活 動 内 容
委員会 4回	○川崎市立看護大学の難波貴子教授にアドバイザーとして協力を得て、病院と訪問看護ステーション間における看護サマリーの検討経過と看護サマリーに記載して欲しい情報をまとめた「看護サマリーを有効に活用しよう」を作成
交流会 1回	○病院と地域での看護職の連携交流会 参加数：73名 日 時：令和6年9月18日（水）13:30～16:00 会 場：川崎市医師会館研修室 テーマ：「看護サマリーに記載してほしい情報とは～情報を『受け取る側からの声』の報告会～」 内 容：令和2年度から令和6年度の間サマリーについての取り組みのまとめ報告・意見交換、「看護サマリーを有効に活用しよう」制作・配布予定について報告
発表会 1回	○看護研究・活動報告にて発表 日 時：令和7年2月27日（水）12:30～16:00 会 場：ナーシングセンター 内 容：令和2年度からの看護サマリーに関する看護連携推進委員会の取り組み・活動報告

<今後の課題>

看護サマリーを通じた病院と訪問看護ステーション（在宅）における連携についての活動の集大成として冊子「看護サマリーを有効に活用しよう」を作成できた。今後は看護現場における、「看護サマリーに記載してほしい情報」の活用・浸透状況について評価を行っていく必要がある。